

総務文教常任委員会

自主防災組織の推進

県自主防災組織設立 促進モデル事業

平成23年度県モデル地区の指定を受け、町内会対象に県主催の講演会3回予定で1回目開催。
今年度限りの400万円の補助金(30町内会の6割)で、自主防災組織を設立しなければならない。

過去水害を受けた地域は勿論、全町内会で立ち上げる意気込みで取り組んで欲しいと要望。

住宅リフォームで 商工活性を

志免町緊急経済対策住宅リフォーム補助金事業は利用が少ない。
住民への周知が足りない。商工会とのタイアップでの広報ができないのか、今一度工夫すべきと要望した。

厚生建設常任委員会



▲铸铁管NS使用の工事現場

上水道事業

耐震化計画はつくっていない。基幹管に使用している铸铁管NS型は東日本大震災でもほとんど影響がなかった。今後布設替えの中で耐震化がすすんでいく。

都市計画 志免宇美線の促進

次の事業認可に向け、県・志免町・宇美町と協議する。
渋滞解消に積極的に取り組むよう要望。

保健師と医療機関の連携強化を

粕屋地区CKD対策 連絡システム

慢性腎臓病(CKD)になると脳卒中、心筋梗塞などの心血管系の大きな病気を引き起こすことがわかっていて、その予防対策として粕屋地区連携システムをつくり、平成24年度から実施するため

準備が進められている。予防と同時に透析患者を減らす対策と結果の出る取組みを要望。

障害児・者福祉

平成18年4月施行の障害者自立基本法が廃止され、平成25年8月までに障害者総合福祉法が施行

される。

権限移譲が行われるが、町の財政負担は増える。メリットは町が主体性を持って運営ができ、窓口が一本化されることで利用しやすくなる。
体制づくりの充実を図っていくよう提案。

委員会報告 (調査・研究)

町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

0歳児の待機30人

平成23年11月1日現在53人のうち0歳児30人。保護者の勤務先等の関係で志免東保育園が多い。0歳児の待機児が多い理由は、●育児休暇からの復帰。
●待機期間は育児休暇の延長や届け出保育園に預けている。
届け出保育園には8月末現在125人入所。待機児童解消にむけてさらに調査研究をするよう要望。

中央学童保育の 入所児童減少

4学童全体の入所状況は340人に対して、11月1日現在264人。中央学童は4月当初より120人の定員に対して88人程度減少の理由は
●1人で留守番ができる。
●本人が希望しない。
●保護者の退職などとなっている。
4年生までを対象とすることも考えられないかと提案。導入している自治体の調査も行うよう提言。

ごみ減量と リサイクル

プラスチックごみの出し方もよくなり、改正容器リサイクル法による市町村への資金拠出制度に基づく戻り金は、21年126万円が22年600万円となる。
出し方がよくなると収入が増える仕組みを、住民に情報提供するように要望。
プラスチックごみ袋がひと回り大きくなる。12月広報で周知し変更する。



▲宇美・志免リサイクルセンター (エコル) 視察

議会運営委員会

議会報告会開催

今回は2中学校区で開催する。
●志免中学校区
2月4日(土)町民センター視聴覚室19時より
●志免東中学校区
2月11日(土)シーメイト研修室13時30分より
9月議会だよりを中心とし、2つの班を編成し、それぞれの所管事項を担当し報告する。
9月から11月にかけて宮崎県新富町・熊本県菊陽町・長崎県川棚町外2町・鹿児島県西之表市の各議会の視察を受けた。内容は主に議会改革についてです。

福岡都市圏広域行政調査 特別委員会

宇美町議会に申し入れていた広域行政調査特別委員会の設置が決まったとの報告を受け、須恵町議会にも、申し入れを行ったところ、正副委員長ならびに各委員の選出を行なっているとの報告を受けた。11月18日志免、宇美、須恵の3町広域正副委員長会を開催し、3町合同の議題及び、2町間の課題を検討する。

議会広報特別委員会



11月22日、自治会館で町村議会広報研修が開催されました。

お詫びと訂正

第61号で22年度一般会計主な事務事業費に誤りがありましたのでお詫し訂正致します。

	(誤)	(正)
防災行政無線維持管理事業	2,526万円	→2,289万円
第5次総合計画策定事業	1,211万円	→1,225万円
特定健康診査等事業	3,127万円	→2,232万円
シーメイト施設維持管理・運営事業	1億1,562万円	→1億2,183万円
少人数指導補助員事業	2,853万円	→2,792万円
子育てサポートセンター運営事業	265万円	→261万円